

粉末ポリマーセメントモルタル

ガッツボンド

強力タイル圧着セメント

F☆☆☆☆0307008NSK

強力接着!驚きの作業性!

下地調整にも使える多用途型



ガッツボンド

ガッツボンドはセメント系粉末をベースに
多量の高性能粉末ポリマーが配合されていますので、
接着性・保水性・粘着性・耐候性・耐熱性に優れています。
特にALC下地などに、タイル張りを行うのに最適な圧着セメントです。

特 長

- ◎水の入れ度合いによって陶器質タイル・磁器質タイル・大型タイル・石材等が張れます。
- ◎ALC・ブロックのような吸水性が激しい下地にも、シゴキ塗りをしてタイル下地を作る事ができ、同じ材料でタイルを張ることができます。
- ◎弾性があり、曲げ強さが大きく、タイルの脱落の可能性が極端に小さくなります。
(他の圧着材と比較して、地震等に対して安全性が高い)
- ◎保水性があり、オープンタイムが長くとれます。(ドライアウトがおこりにくい)
- ◎水廻りのタイル圧着に最適です。
- ◎一材型なので、現場での調合は水を入れるだけで簡単です。

適用下地

モルタル・コンクリート・ALC・ブロックなど
※その他の下地には、他の商品で下地処理
をしてください。

(詳細は施工例を参照してください)

オープンタイム…夏→約10分

春・秋・冬→約10～20分

※気温・湿度により変動

荷姿:20kg入・5kg入
(三層クラフト紙袋ビニール入・5kg×4袋入/ケース)
色:灰色・白色



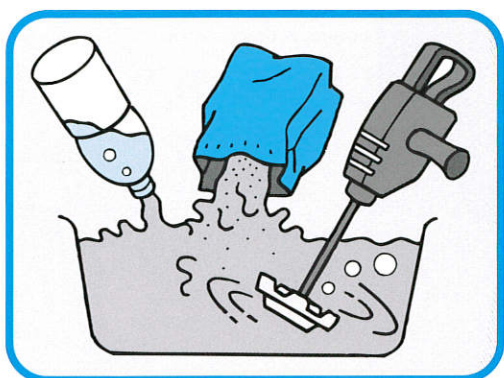
標準仕様

用 途	ガッツボンド20kg1袋		ガッツボンド5kg1袋		塗り厚
	水 量	施工面積	水 量	施工面積	
タ イ ル 張 付 用	陶器質タイル	約7.5ℓ 約10m ²	約1.8ℓ 約2.5m ²	約1.7ℓ 約1.6m ²	約2～3mm
	磁器質タイル	約7ℓ 約6.5m ²	約1.7ℓ 約1.6m ²	約1.2m ²	約3～4mm
	大型タイル・石材	約6.5～7ℓ 約5m ²	約1.6～1.7ℓ 約1.2m ²	約1.2m ²	約4～5mm
下地調整材用	約7～7.5ℓ	約10～20m ²	約1.7～1.8ℓ	約2.5～5m ²	約1～2mm



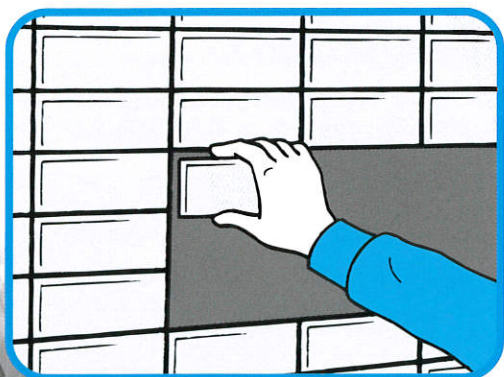
1 STEP 下地確認

施工下地の凸凹・不陸・欠損などの下地の確認を行います。下地処理の必要な箇所があれば、適切な下地処理を行い、下地のほこり・油分・レイタンス・汚れなどを除去してください。



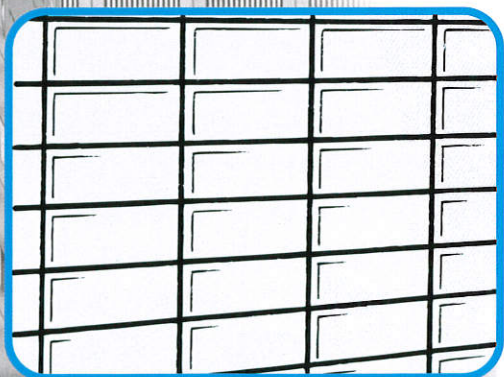
2 STEP 練り方

- 丸缶と攪拌機を使いダマのないように。
(練ったものは1.5時間以内に使い切る)
- 水量はそれぞれの基準に従ってください。
(水は入れ過ぎないように注意してください)



3 STEP タイル張り

- オープンタイムはできるだけ早く取ってください。
- 塗厚はタイルや石の大きさに合わせて約2～5mm厚にしてください。
- 皮張り防止の為、1回の塗り作業はあまり広い面積を取らないでください。
(接着剤張り工法は取らないでください)
- くし目を立てたら素早く、くし目の山がつぶれるまでもみ込む様に強く張ってください。
(押さえ不足は剥離の原因になります)

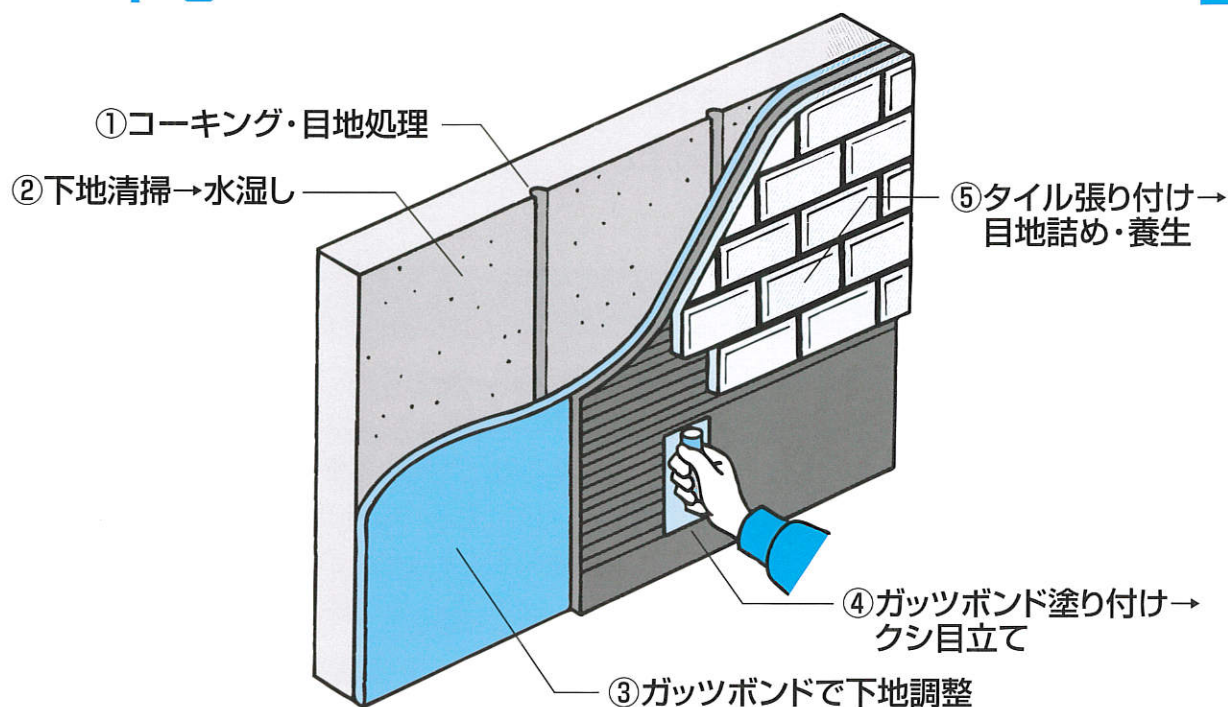


4 STEP 仕上がり

- 吸水タイプの陶器質タイルやブリックタイルは水浸しか接着面にプライマー処理をしてから張ってください。(改良圧着張りで張る)
※ 陶器質タイルにおいて改良圧着張りのできない(100角ネット等)吸水タイルは施工しないでください。
- 大型タイルや石材は改良圧着張りで張ってください。
- 約2㎡ごとにタイルを1枚剥がして、タイル裏面にガッツボンドが付着(70%以上)しているか確認してください。付着していない場合は塗り直してください。

ALC下地

1



① ALCの目地処理

目地部分の清掃を行い、コーキング処理(変成シリコーン・ポリウレタン)し、乾燥後当社ガッツボンドに砂とセメントを加え(配合比率はガッツボンド20kg:6号珪砂10kg:セメント10kg)水で攪拌し目地部分に塗り付ける。

※注:表面が乾燥するまで養生してください。

② 下地の水湿し

ALC表面の清掃後、下地の水湿しは必ず行ってください。

※注:特に天気の良い気温の高い時は十分に水湿しを行ってください。

③ ガッツボンドで下地調整

②の処理を行った下地にガッツボンドを約1~1.5mm厚に塗り付けてください。水量はガッツボンド20kgに対して約7~7.5リットルでダマのないように充分攪拌してください。

※注:厚く塗り過ぎないように注意してください。(厚く塗り過ぎると下地に負担がかかります。)

④⑤ ガッツボンドで タイルの張り付け

ガッツボンド20kgに対して水約7リットルを加え、ダマのないように充分攪拌してください。

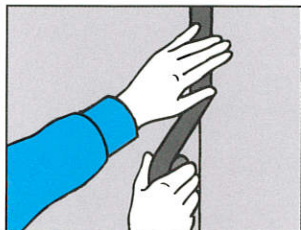
攪拌し終えたガッツボンドを③の処理を行った下地に塗り付けてください。(塗り厚はタイルの大きさや、裏足の高さで約2~5mm厚に加減して塗り付けてください。)皮張りしますので1回の塗り付け面積は、約1~2m²にしてください。

くし目を立てる面積は10分以内でタイルを張れる面積にしてください。(くし目を立てて直ぐにタイルを張った方が無難です。)タイルは充分にくし目の山がつぶれる位モミ込むように強く張り付けてください。

※注:皮張りが激しい場合や、塗り付けて10分以上経過してしまった場合は、ガッツボンドをかきおとして、再度塗り直してから作業を行ってください。(無理にしますと剥離の原因となります)特に天気の良い、気温が高く、風の強い場合はすべての作業をすばやく(塗り付け→くし目→タイル張り)行ってください。

コンパネ下地へのタイル張り

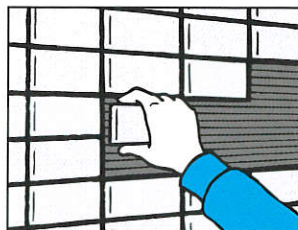
2



1.コンパネのジョイント部を
プチルテープ等で処理して
ください。



2.ニューハードマット（原液）
を塗付。

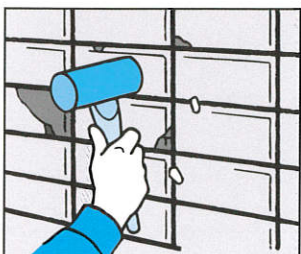


3.ガッツボンドにてタイル圧着。

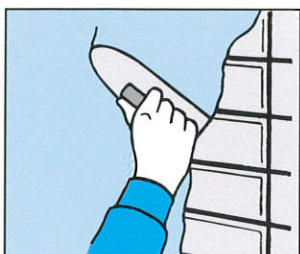
※注意
下地のほこり、油分、レ
イタンス、汚れなどは必
ず除去してください。
ニューハードマットは完
全乾燥してください。

旧タイルの上にタイル張り

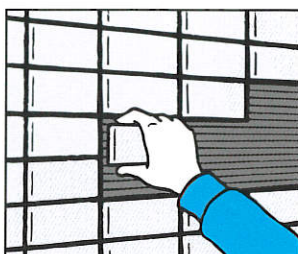
3



1.旧タイルが下地にしっかり
付いているのを確認して
ください。



2.カチオンパワフルで下地処
理してください。



3.ガッツボンドにてタイル圧着。

※注意
下地のほこり、油分、レ
イタンス、汚れなどは必
ず除去してください。
カチオンパワフルは完
全乾燥してください。

サイディングの上にタイル張り

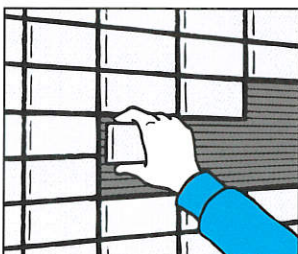
4



1.サイディングのジョイント部
をプチルテープ等で処理し
てください。



2.ニューハードマット（原液）
及びカチオンミラクルで下
地処理を行う。

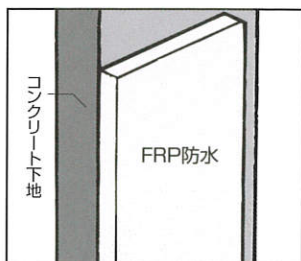


3.ガッツボンドにてタイル圧着。

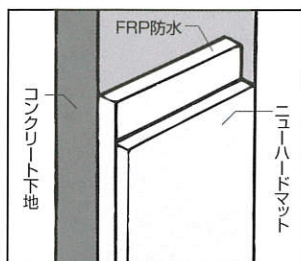
※注意
下地のほこり、油分、レ
イタンス、汚れなどは必
ず除去してください。
凸凹の激しいサイディ
ングの場合は当社に相
談してください。

FRP防水下地にタイル張り

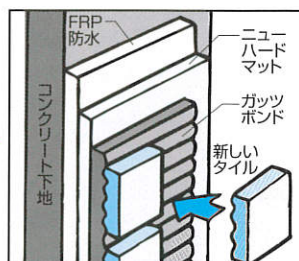
5



1.FRP防水下地を目荒して
ください。



2.ニューハードマット（原液）
を塗付。



3.ガッツボンドにてタイル圧着。

※注意
下地のほこり、油分、レ
イタンス、汚れなどは必
ず除去してください。
ニューハードマットは完
全乾燥してください。

※ここに記載された施工例は実際の成項事例に基づいたものでありますが、使用条件により相違する場合があり、実際の現場結果を確実に保証するものではありません。ご使用に際しましては、十分ご試験や検討くださる様、お願いします。その他の下地については、当社までご相談ください。

性能試験

項 目			試験結果				試験要領		下地の種類
供試体の材料	タイル	磁器質タイル	小口平タイル				10.8×6×0.9cm		
		陶器質タイル	陶器質ユニットタイル(裏面紙付)				7.5×7.5×0.5cm		
	被着体	コンクリートブロック	市販品						
		ALC板	ヘーベル						
		コンパネ	12mm厚コンパネ用合板 予め表面にハードマットを0.5mm厚に塗付						
	圧着用セメント		ガッツボンドを標準仕様通りの水量で混練、塗付						
モルタルの物性	初期フロー値		160mm						
	比 重		1.68						
	保 水 率		85.3%						
	曲げ強さ	4×4×16cm	8.6N/mm ² (87.5kg/cm ²)						
	圧縮強さ	4×4×16cm	13.7N/mm ² (140kg/cm ²)						
	吸水率	4×4×16cm	11.6%				材令14日後に水中24時間浸漬		ブロック
	透水性	15φ×4cm	10.2g 材令28日後に80℃×3日乾燥後1kg/cm ² ×1時間の水圧をかける						
接着強さ	材令との関係	磁器質	2日 1.1	7日 1.1	14日 1.2	28日 1.5	N/mm ²		ブロック
		陶器質	2日 0.7	7日 0.8	14日 0.9	28日 1.0	N/mm ²		ブロック
	オープンタイムとの関係	磁器質	0分 1.0	10分 0.9	20分 0.8	30分 0.8	N/mm ² 材令14日		ALC
		陶器質	0分 0.8	10分 0.6	20分 0.6	30分 0.4	N/mm ² 材令14日		ALC
	水中浸漬湿潤時	磁器質	0.9N/mm ² (9.3kg/cm ²)				材令14日		ブロック
		陶器質	0.5N/mm ² (5.1kg/cm ²)				材令14日		ブロック
	コンパネ下地	陶器質	0.4N/mm ² (3.7kg/cm ²)				材令14日		コンパネ
	※1	コンパネ下地での耐衝撃性	磁器質	6回で落下				材令14日	
		陶器質	29回で落下				材令14日		コンパネ
※2	タイルのズレテスト	磁器質	0mm						ブロック
		陶器質	0mm						ブロック

※1→耐衝撃性試験:気乾養生後、被着体のタイル接着面を下方にし、被着体裏面へ重さ960gの重錘を1mの高さから落下させ、タイルがはがれ落ちる回数を調べる。

※2→タイルのズレテスト:コンクリートブロックに予めEVA系接着剤3倍液を2回塗付、風乾後、タイル圧着材を張り、直ちにタイル接着面を垂直に立て、翌日、ズレ寸法を測定した。

凍結融解試験

気乾養生後、下記の条件で凍結融解試験を最高50サイクル行う。

⇒常温水中浸漬×8H⇒気中凍結(−20℃)×16H⇒常温水中×8H⇒乾燥50℃×16H⇒

試験結果 磁器質タイルの接着強度

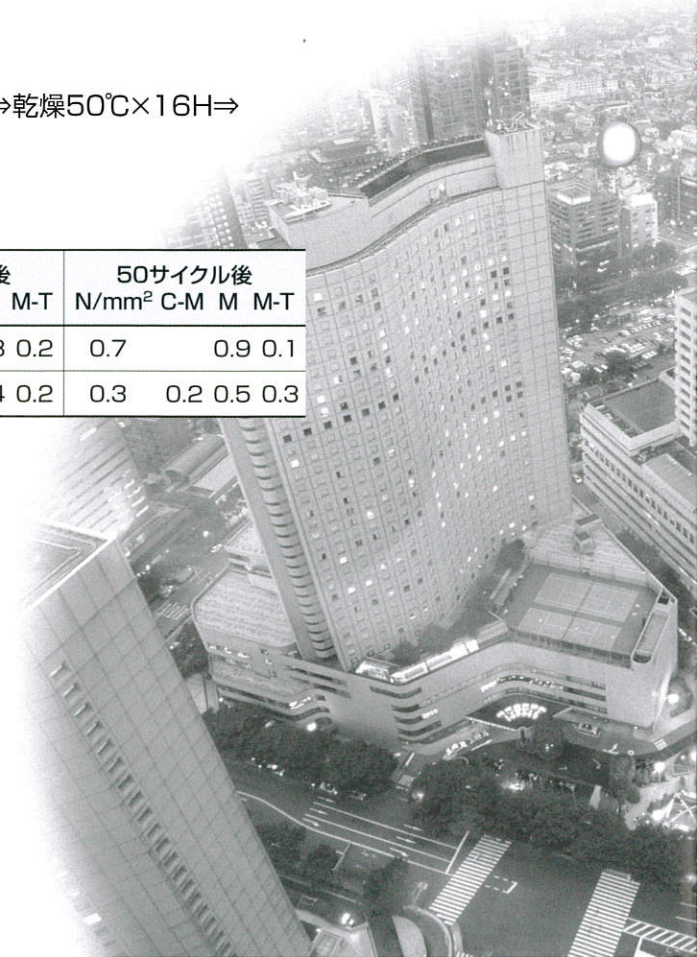
モルタル種類	0サイクル後				5サイクル後				25サイクル後				50サイクル後			
	N/mm ²	C-M	M	M-T	N/mm ²	C-M	M	M-T	N/mm ²	C-M	M	M-T	N/mm ²	C-M	M	M-T
ガッツボンド	1.2		0.3	0.7	1.1		0.9	0.1	0.8		0.8	0.2	0.7		0.9	0.1
無 混 入	1.4	0.1	0.5	0.4	1.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.2	0.3	0.2	0.5	0.3

接着強度測定結果

タイル	暴露1.5年			暴露3年		
	N/mm ²	M	M-T	N/mm ²	M	M-T
磁器質	1.5	0.80	0.20	1.7	0.90	0.10
陶器質	1.1	0.55	0.45	1.3	0.60	0.40

破断状態/M:ガッツボンドモルタル層材破

M-T:ガッツボンドモルタルータイル間の界面剥離



取扱い及び保管上の注意

- ◎気温は4℃を下回る場合の施工は避けてください。
- ◎炎天下の焼きつくような下地への直接施工は避けてください。
- ◎ガッツボンドの保管は、湿気・凍結・高温のない場所で保管してください。
- ◎保存安定期間は、製造後約5ヶ月です。

応急処置

- 目に入った場合／清水で速やかに十分洗顔を、状況に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合／すぐ水で洗い流し、必要な場合は医師の診断を受ける。
- 吸入した場合／速やかに新鮮な空気のある場所に移し、水又は湯水でうがいさせ、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合／多量の水を飲ませ、吐かせた後、医師の診断を受ける。

※尚、詳しくは、MSDS（製品安全データシート）をご参照ください。

当社製品の紹介

カチオンパワフル

（カチオン系下地処理材）

【荷姿】

ケース入り、パール缶入りコテ塗タイプ20kg
パール缶入りローラータイプ11kg

【適用下地】

コンクリート・モルタル・PC板・しっくい・
無機質系床材（ダイナカラー、カラークリート）・
磁器質・陶器質タイル・天然石・テラゾー・ガラス・
銅板・ラスカットパネル・エポキシ床材・ウレタン床材・吹き付け材・
スタイロフォーム・珪酸カルシウム板 など



コテ塗りタイプ



ローラータイプ

※JIS A 6916 適合品

カチオンミラクル

（一材型カチオン系下地処理材）微弾性

【荷姿】

20kg入
（セメント粉体、三層クラフト紙袋ビニール入）

【適用下地】

コンクリート・モルタル・RC面・PC板・
水系塗料旧塗膜面・無塗装サイディング面・
しっくい・ALC・ブロック・珪酸カルシウム板・
旧タイル面・セメント系押し出し成型板・
スタイロフォーム・コンパネ・銅板 など



※JIS A 6916 適合品

バインドリーム

（内外壁タイル用弾性接着剤）

【荷姿】

フィルムパック2kg×9本／ケース

【適用下地】

コンクリート・モルタル・
コンクリートブロック・
押し出し成型板・ケイカル板・
木材・合板・石膏ボード・
石膏下地・鉄・ガラス・
無塗装サイディングボード・
ステンレス・アルミニウム・
ALC・FRP など



※VOC 適合品 官民共同研究規格合格品

モル・キッス

（カチオン系セメント混和用ゴムラテックス）

【荷姿】

ポリ容器3kg
缶入り18kg

【適用下地】

タイルの表面・磨きモルタル・
コンクリート・鉄骨・銅板・
コンパネ（プライマー必要）・
石・スレート板 など



ニューハードマット

（特殊下地処理材・左官用簡易防水材）

【荷姿】

3kgポリ缶×6ヶ1ケース
缶入り18kg

【適用下地】

モルタル・鉄・コンクリート・ブロック・
ALC・PC板・スレート・タイル・合板・
瓦・無機質床材・エポキシ床材・
ラスカットパネル・アルミニウム・
スタイロフォーム・FRP・
FRP防水・ステンレス など



※詳細は、それぞれの商品カタログをご参照ください。



代理店

株式会社 竹屋化学研究所

〒577-0062 東大阪市森河内東1丁目25番12号
Tel.06-6781-1323(代) Fax.06-6782-7021
<http://www.takeyakagaku.com>

ガッツボンド *Fit* (フィット)

F☆☆☆☆0511015 NSK

ガッツボンド Fitとは、セメント系粉末をベースに高性能粉末ポリマーが配合されていますので、接着性、保水性、耐候性、耐熱性、耐水性等に優れています。

特長

- 一材型なので、現場での調合は水をいれるだけで簡単です。
- 高性能粉末ポリマーが多量に入っていますので、ALC、ブロックの様な吸水性が激しい下地の下地調整が出来、同じ材料でタイルを張る事ができます。
- 耐水性に優れているので、水廻りのタイル圧着に最適です。
- 水の入れ具合によって磁器質タイル、大型タイル、石材等が張れます。

適用下地

モルタル・コンクリート・ALC・ブロック等
(その他の下地の場合は他の商品で下地処理してください。)

施工方法

- ①下地の確認 下地処理の必要な箇所があれば、適切な下地処理を行い、下地を平滑に仕上げ、下地のほこり、油分、レイタンス、よごれ等を除去してください。
- ②練り方 水を混練り用の容器に必要な水量入れてください。次にを入れて、攪拌機にてダマのない様に攪拌してください。(混練りした材料は早い目に使用してください。)
- ③張り付け
 - 塗り厚はタイルや石材の大きさにあわせ約2～5mm厚に塗りつけてください。
 - 皮張り防止の為、1回の塗り作業は1～2㎡ぐらいにし、10分以内でタイルを張り付け出来るようにしてください。
 - くし目を立てたら素早く、くし目の山がつぶれるまで、もみ込む様に強く張ってください。(押さえ不足は剥離の原因になります)
 - 大型タイルや石材は改良圧着張りで張ってください。
 - 約2㎡ごとにタイルを1枚はがして、タイルの裏面にガッツボンド Fitが付着(70%以上)しているか確認してください。付着していない場合は塗り直してください。
- ④目地詰め タイルを張り付けたら、よく乾燥させ、目地詰めを行ってください。(目地材は用途によって市販のタイル用目地材を使用してください)

標準施工面積

用途	水量	施工面積	塗り厚
磁器質タイル施工	約5ℓ	約6.5㎡	約3～4mm厚
石材・大型タイル施工	約4.5ℓ～5ℓ	約5㎡	約4～5mm厚
下地調整用	約5ℓ～6ℓ	約17㎡～8㎡	約1～2mm厚

荷姿

20kg入り (三層紙袋ビニール入り)

色 灰色・白色



ガッツボンド Fitの性能試験

①モルタル物性

配合：粉体200／水50

項目	試験結果	試験方法・養生条件
フロー値(cm)	15.0	
軟度変化(%)	-0.7	
比重(g/m ³)	1.42	
保水性(%)	96.0	住都公タイルモルタル試験方法(濾紙法)
吸水率(%)	13.0	
透水率(5cc透過時間)	4時間20分	JIS A1171 (4×4×16cmを2日間水中浸漬)
長さ変化率(%)	0.23	
曲げ強さ(N/mm ²)	5.1	28日気乾養生後測定
圧縮強さ(N/mm ²)	12.5	28日気乾養生後測定

②接着強度測定結果

(1) 下地：モルタル

※水打ち⇒塗り付け⇒くし目5mm⇒オープンタイム10分でタイル張り付け14日間気乾養生

接着強度(N/mm ²)	破断状態(%)
0.87	下地破断

③凍結融解試験

下地：コンクリートレンガ

※水打ち⇒しごき塗り⇒塗り付け⇒くし目5mm⇒オープンタイム0分でタイル張り付け

14日間気乾養生後⇒50℃×3H⇒常温水中×2H⇒-20℃気中3H⇒常温水中×16H
を25サイクル繰り返し終了後7日間気乾養生後強度測定

接着強度(N/mm ²)	破断状態(%)
1.07	ガッツボンド Fitの凝集破断

取り扱い及び保管上の注意

- 気温が4℃を下回る場合の施工は避けてください。
- 炎天下の焼くつく様な下地への直接施工は避けてください。
- ガッツボンド Fitの保管は、湿気、凍結、高温のない場所で保管してください。
- 保存安定期間は、製造後約5ヶ月です。

応急処置

- 目に入った場合／清水で速やかに十分洗顔し、状況に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合／直ぐに水で洗い流し、必要場合は医師の診断を受ける。
- 吸入した場合／速やかに新鮮な空気のある場所に移し、水又は湯水でうがいさせ、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合／多量の水を飲ませ、吐かせた後、医師の診断を受ける。

※尚、詳しくは、MSDS(製品安全データシート)をご参照下さい。



代理店

株式会社 竹屋化学研究所

〒577-0062 東大阪市森河内東1丁目25番12号

Tel. 06-6781-1323(代) Fax. 06-6782-7021

http://www.takeyakagaku.com

粉末ポリマーセメントモルタル

はやて

ガッツボンド疾風

速硬性強力タイル圧着セメント

1～3時間で硬化！
タイル工事の
One day施工が可能！

ガッツボンド疾風 (はやて) は、

高性能粉末ポリマー入りの一材型速硬性強力タイル圧着セメントです。

従来のタイル圧着モルタルに比べ、大幅に硬化が早い為、短時間で目地詰めが可能です。

工期の短い店舗の改修工事や夜間の凍結が心配な冬期のタイル工事等、

短時間でのタイル工事に最適な商品です。

特 長

◎水の入れ具合によって陶器質タイル・磁器質タイル・大型タイル・石材等が張れます。

◎速硬性を持つタイル圧着材ですので施工後、短時間で目地詰めが可能です。

〈35℃〉約1～2時間

〈20℃〉約2～3時間

〈5℃〉約4～5時間

注:目地直しは短時間で行ってください。

◎速硬性のタイル圧着材ですが練り置き可能時間が比較的長くとれます。

〈35℃〉約10～15分

〈20℃〉約20～30分

〈5℃〉約70～80分

注:あくまで目安です。

◎オープンタイム

〈35℃〉約5分

〈20℃〉約10分

〈5℃〉約10～20分

注:あくまで目安です。

◎一材型ですので、現場での調合は必要な量を水で練るだけで使用できます。

施工方法 STEP 1 下地確認



施工下地の凸凹・不陸・欠損などの下地の確認を行います。下地処理の必要な箇所があれば、適切な下地処理を行い、下地のほこり・油分・レイトランス・汚れなどを除去してください。

施工方法 STEP 2 練り方



●まず攪拌用の容器に水を入れます。
(水の量は練る材料の量に合わせ調節してください)

●次にガッツボンド疾風(粉体)を加え、攪拌機でよく攪拌してください。

※水は入れすぎないように注意してください。
施工時の気温に応じ、練り置き時間内に使いきれる様に必要量をこまめに練ってください。

適用下地

モルタル・コンクリート・ALC・ブロックなど

※その他の下地には、他の商品で下地処理をしてください。

標準仕様

用途	水量	施工面積	塗り厚
タイル張り付用 陶器質タイル	約1.3ℓ	約1.5m ²	約2～3mm
磁器質タイル	約1.2ℓ	約1.0m ²	約3～4mm
大型タイル・石材	約1.1～1.2ℓ	約0.5m ²	(改良圧着張り)



荷姿:

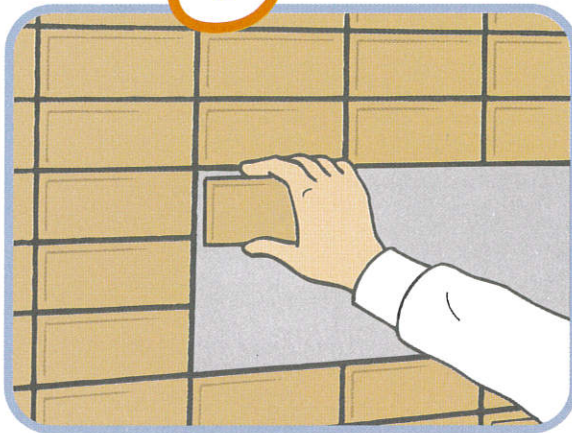
●5kgポリエチレン袋入

●4袋入

●ケース

色: グレー

施工方法
STEP 3 タイル張り



- オープンタイムはできるだけ短く取ってください。
- 塗厚はタイルや石の大きさに合わせて約2～5mm厚にしてください。
- 皮張り防止の為、1回の塗り作業は**あまり広い面積**を取らないでください。
(接着剤張り工法は取らないでください)
- くし目を立てたら素早く、くし目の山がつぶれるまでもみ込む様に強く張ってください。**
(押さえ不足は剥離の原因になります)
- 目地直しは短時間で行ってください。
- 吸水タイプの陶器質タイルやブリックタイルは水湿しか接着面にプライマー処理をしてから、改良圧着張りにて張り付けてください。
※陶器質タイルにおいて改良圧着のできない(100角ネット等)吸水タイルは施工しないでください。
- 大型タイルや石材は改良圧着張りで張り付けてください。
- 約1㎡ごとにタイルを1枚剥がして、タイル裏面に**ガッツボンド疾風**が付着(70%以上)しているか確認してください。付着していない場合は、再度塗り直してください。
- 使用温度範囲:5℃～35℃
- 降雨・降雪が近い場合は、施工を避けてください。

性能試験

1.モルタルの物性

試験項目(単位)	試験結果	養生条件・試験方法
初期フロー値(mm)	156	
比重	1.71	
保水率(%)	99	住都公タイルモルタル試験方法(濾紙法)に準じる
曲げ強度(N/mm ²)	5.8	4×4×16cmの供試体 28日間(20℃・60%)養生後
圧縮強度(N/mm ²)	16.5	
吸水率(%)	8.7	4×4×16cmの供試体14日間 (20℃・60%)養生後 20℃の水中24時間浸漬、 前後の重量変化より
透水率(g)	1.6	JAS A6916透水試験方法に準じる
長さ変化率(%)	0.14	4×4×16cmの供試体28日間後
凝結時間(分)	5℃	始結 210
		凝結 230
	20℃	始結 30
		凝結 40
	35℃	始結 17
		凝結 22

2.接着強さ

下地:モルタル
使用タイル:磁器質タイル
くし目:5mm

■ 5℃×4時間・24時間

材令(時間)	OT(分)	接着強度(N/mm ²)	破断状態(%)		
			C-M	M	M-T
4	0	0.13		95	5
4	10	0.19		85	15
24	0	0.30		95	5
24	10	0.25		30	70

■ 20℃×2時間・24時間

材令(時間)	OT(分)	接着強度(N/mm ²)	破断状態(%)		
			C-M	M	M-T
2	0	0.25	5	85	10
2	10	0.21		10	90
24	0	0.53		100	
24	10	0.60		50	50

■ 35℃×1時間・24時間

材令(時間)	OT(分)	接着強度(N/mm ²)	破断状態(%)		
			C-M	M	M-T
1	0	0.22		30	70
1	10	0.18		4	96
24	0	0.72		95	5
24	10	0.66	5	90	5

※破断状態のC-M:下地と材料の界面
M:材料の凝集破断
M-T:材料とタイルの界面

当社製品の紹介

ガッツボンド

(一材型強力タイル圧着セメント)

【荷姿】

20kg入・5kg入
(三層クラフト紙袋ビニール入・5kg×4袋入/ケース)
色:灰色・白色・黒色

【適用下地】

モルタル・コンクリート・
ALC・ブロック など



ガッツボンド Fit(フィット)

(一材型粉末ポリマーセメント・強力タイル圧着モルタル)

【荷姿】

20kg入
(三層クラフト紙袋ビニール入)
色:灰色・白色

【適用下地】

モルタル・コンクリート・
ALC・ブロック など



バインドリーム

(内外壁タイル用弾性接着剤)

【荷姿】

フィルム/パック2kg×9本/ケース

【適用下地】

コンクリート・モルタル・
コンクリートブロック・
押し出し成型板・ケイカル板・木材・
合板・石膏ボード・石膏下地・鉄・
ガラス・無塗装サイディングボード・
ステンレス・アルミニウム・
ALC・FRP など



※VOC 適合品 官民共同研究規格合格品

カチオンミラクル

(一材型カチオン系下地処理材) 微弾性

【荷姿】

4kg入×5袋/1ケース・20kg入
(セメント粉体、三層クラフト紙袋ビニール入)

【適用下地】

コンクリート・モルタル・RC面・PC板・
水系塗料旧塗膜面・無塗装サイディング面・
しっくい・ALC・ブロック・珪酸カルシウム板・
旧タイル面・セメント系押し出し成型板・
スタイロフォーム・コンパネ・銅板 など



※JIS A 6916 適合品

カチオンパワフル

(カチオン系下地処理材)

【荷姿】

ケース入り、ベール缶入りコテ塗りタイプ20kg
ベール缶入りローラータイプ11kg

【適用下地】

コンクリート・モルタル・PC板・しっくい・
無機質系床材(ダイナカラー など)・
磁器質・陶器質タイル・天然石・テラゾー・
ガラス・銅板・ラスカットパネル・
エポキシ床材・ウレタン床材・吹き付け材・
スタイロフォーム・珪酸カルシウム板 など

※JIS A 6916 適合品



コテ塗りタイプ



ローラータイプ

ニューハードマット

(特殊下地処理材・左官用簡易防水材)

【荷姿】

3kgポリ缶×6ヶ1ケース
缶入り18kg

【適用下地】

モルタル・鉄・コンクリート・ブロック・
ALC・PC板・スレート・タイル・合板・
瓦・無機質床材・エポキシ床材・
ラスカットパネル・アルミニウム・
スタイロフォーム・FRP・FRP防水・
ステンレス など



※詳細は、それぞれの商品カタログをご参照ください。

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い**／目、皮膚等への接触を防ぐ為、適切な保護具(手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等)を使用する。換気に注意する。取扱い後は顔、手、口等をよく洗う。開封時及び、開封後は飛散しない様、気をつける。
- 保管**／直射日光の当たらない乾燥した場所に保管する。
5℃～30℃の温度範囲で保管する。開封後は必ずシールする。
- 保存安定期間**／製造後約5ヶ月です。

安全上の注意

- 輸送上の注意**／破袋、容器からの漏れに注意し、輸送する。荷崩れ等の防止を行い、湿気、水ぬれにも注意する。

応急処置

- 目に入った場合**／清水で速やかに十分洗顔を、状況に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合**／すぐ水で洗い流し、必要場合は医師の診断を受ける。
- 吸入した場合(粉体のみ)**／速やかに新鮮な空気のある場所に移し、水又は湯水でうがいさせ、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合**／多量の水を飲ませ、吐かせた後、医師の診断を受ける。

※尚、詳しくは、MSDS(製品安全データシート)をご参照ください。



代理店

株式会社 竹屋化学研究所

〒577-0062 東大阪市森河内東1丁目25番12号
Tel.06-6781-1323(代) Fax.06-6782-7021
<http://www.takeyakagaku.com>